

8 質問紙の結果から見た子どもの特徴（全国と比べ）

<良かった点>

- ・「国語や算数・数学の授業の内容がよく分かる」と答えた子どもの割合が全国よりも高い
 - ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じる児童生徒が多く、その割合は全国より高い
 - ・話し合い活動に進んで参加し、自分の考えをしっかりと伝えようとする子どもが多い
 - ・「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と思う子どもが多い
 - ・家で、自分で計画を立てて勉強する子どもが多い
 - ・宿題や復習など家庭学習を積極的に取り組んでいる子どもが多い
 - ・学校のきまりを守っている子どもが多い
 - ・電子メディアの利用時間が少ない
- ### <改善したい点>
- ・「自分にはよいところがある」と思えるような自己肯定感を育むこと
 - ・家庭で、10分以上読書をするこ

9 質問紙の結果から見た正答率の高い子どもの姿

- ・規則正しい生活をする子ども（早寝、早起き、朝ごはん）
- ・宿題や予習、復習をする子ども
- ・10分以上読書をする子ども
- ・学習課題に対して自ら考え、自分から取り組む子ども
- ・自分によいところがあると思う子ども
- ・むずかしいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する子ども
- ・地域社会などでボランティア活動に参加する子ども
- ・ニュースを見たり、新聞を読んだりする子ども

<小学生>

- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている子ども
- ・住んでいる地域の行事に参加している子ども

<中学生>

- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子ども
- ・電子メディアの利用が少ない子ども

10 生活リズム調査や電子メディア利用アンケートなどから分かること

- 1 毎日朝ごはんを食べている子どもがほとんどです（ごくわずかですが、朝ご飯を食べてこない子どもがいます。）
- 2 就寝時刻が遅く、寝不足の子どもが、学年にもよりますが、1割から2割程度います。
- 3 電子メディア利用では、土日に2時間以上テレビを利用したり、ゲームをしたりしている子どもは、3割を超えています。
- 4 電子メディア利用のルールづくりが広がってきています。
- 5 ケータイ、スマホの個人所有率は全国平均を下回っていますが、ケータイやスマホ以外のゲーム機や音楽プレイヤー、タブレットなどでも、ネットに接続する子どもが多くいます。
- 6 インターネットやゲームを「やめられない」子どもが増加傾向にあります。

11 学力向上に向けた教育委員会の取組

教育委員会は子どもたちの学力の向上に寄与するため、今後も以下のような取組を一層推進してまいります。

1 厚真町学力向上推進委員会の取組

各小中学校の代表者で組織する学力向上推進委員会において、本町の児童生徒の学力の実態を把握し、学力向上に向けた学習指導の研究、学校間の連携、家庭との連携、教職員の研修に関することなどを行います。

2 授業における指導力の向上のための研修の充実

厚真町教育研究会と連携して、日々の授業改善に向けた先生方の共同研修を行っています。

また、先進地への視察を行うなど研修の充実に努めていきます。

3 児童生徒への学習支援の取組

児童生徒の学習指導を充実するための複数教員による指導、長期休業中の補充指導への支援などを行っています。

4 学びチャレンジ支援の取組

中学生の各種資格取得への補助を通して生徒が主体的に学び、チャレンジするための支援を行っています。